

# 前橋市社会福祉審議会 第5回高齢者福祉専門分科会 議事録

◆ 日 時 令和5年10月26日(木) 午後1時30分～午後2時53分

◆ 場 所 前橋市役所 11階北会議室 ※オンライン参加有り

◆ <出席者> 16人(敬称略)

委員：◎牛久保美津子 (群馬大学大学院)  
長谷川亮輔 (群馬弁護士会)  
松浦恵 (群馬司法書士会)  
岩井丈幸 (前橋市医師会)  
○西野郁生 (前橋市歯科医師会)  
小林英俊 (前橋市社会福祉協議会)  
後閑千代壽 (前橋市老人クラブ連合会)  
久保田光明 (前橋市民生委員・児童委員連絡協議会)  
柳川右千夫 (群馬県老人保健施設協会)  
黒澤瑞樹 (群馬県老人福祉施設協議会 中毛ブロック)  
野中和英 (群馬県介護支援専門員協会 前橋支部)  
武井謙介 (群馬県在宅福祉サービス事業者協会)  
三俣和哉 (群馬県地域密着型サービス連絡協議会)  
石倉京子 (市民公募臨時委員)  
剣持鈴代 (市民公募臨時委員)  
生方ちはる (市民公募臨時委員)  
◎=分科会長 ○=職務代理者

<欠席者> 1人

矢嶋美恵子 (群馬県看護協会)

<傍聴者> 0人

◆ 次 第 1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 前橋市介護保険事業の特徴について【資料1】

(2) 第9期まえばしスマイルプラン介護基盤整備方針について

【資料2】【参考資料①】【参考資料②】

(3) 第9期まえばしスマイルプランの構成・事業項目について【資料3】

4 そ の 他

・令和5年度保険者機能推進交付金等の集計結果について【資料4】

5 閉 会

## 1 開 会

五嵐長寿包括ケア課長

- ・委員17人中16人の出席により本分科会が成立していることを報告
- ・会議及び会議録が公開であることを報告

## 2 あいさつ

(牛久保会長) 前回に引き続き、第9期まえばしスマイルプラン策定に向けて皆様からのご協力をいただきたい。

## 3 議 事

(1) 前橋市介護保険事業の特徴について

(2) 第9期まえばしスマイルプラン介護基盤整備方針について

・【資料1】【資料2】【参考資料①】【参考資料②】に基づき事務局から一括して説明  
<質疑等>

(黒澤委員) <【資料1】9頁【施策の方向性】> 前回の報告で、訪問型サービスA利用者の減少傾向への対応については、利用者の多い自治体と介護支援専門員からの聞き取りを行い検討するとあった。これを踏まえた結果だと思うが、養成者数を増やしても事業所も増えないと解決につながらない。また、ホームヘルパー(訪問介護員)の有効求人倍率が過去最高という全国報道があったが、前橋市も例外ではないため、介護職員初任者研修以上の人材育成対策も検討して欲しい。

(事務局) 訪問型サービスAの従事者養成研修は継続する方向だが、ご指摘のとおり状況であることから、サービス自体のあり方も含めて検討する必要があると考えている。また、その他の人材育成対策も併せて検討を続ける。

(野中委員) <【参考資料②】> 複数申込者はどう計算しているか。

(事務局) 複数計算しないよう調整している。

(野中委員) <【資料2】2頁> 特別養護老人ホームは全体で見ると空床数が71となっている。施設によって空き状況は異なると思うが、地域性はあるのか。

(事務局) 地域性は無く、施設の特徴によって差があるのだと思う。

(野中委員) 施設によっては人材の問題もあるので、人材育成対策や事業所とのマッチングを進めて欲しい。

(牛久保会長) <【資料1】6頁> 通所リハビリテーションの特徴はあるか。

(事務局) 通所介護ほどの特徴は無く、全国平均と同程度。

(牛久保会長) 本日まで提示した第9期基盤整備計画について、ご承認いただけるか。

(委員一同) 《承認》

### (3) 第9期まえばしスマイルプランの構成・事業項目について

・【資料3】に基づき事務局から説明

<質疑等>

(剣持委員) 「目標Ⅱ 2) (3)老人クラブ活動の推進」について、老人クラブ維持に向けた具体的な取組について伺いたい。

(事務局) 単位老人クラブへの助成は継続して行っていく。また、市老人クラブ連合会からの相談を受けて、概ね30人という人数要件を緩和する方向で進めたい。

(後閑委員) 老人クラブの担い手やクラブ自体が減少している中で、基本理念にある「生きがいのある生活を送るための施策の充実」の実現のため、少しでも高齢者が元気なまちとなり、住んで良かったと思える前橋市にぜひしてほしい。

(野中委員) 【資料1】にあった介護人材確保のための「介護サービス事業所とのマッチングやマンパワーセンターとの連携」は、「目標Ⅳ 3) (1)多様な担い手の育成」に入るのか。

(事務局) そのとおり。研修修了者に対してのマンパワーセンターとの連携したマッチングを今後も継続して進めたい。

(石倉委員) 「目標Ⅳ 1) (2)見守り・安否確認サービス」について、ひとり暮らし高齢者調査が各地区の任意調査となるなど、地域住民の安否確認の機会が減っており大変懸念している。前橋市は、緊急通報システムや配食などで安否確認を行っているが、福井市は民間企業と連携して、緊急通報システムの他に、乳酸菌飲料配布や配食による見守りの中から選択できるようになっている。民間の企業力を活用した見守り体制を検討してほしい。

(久保田委員) 「ピンシャン！元気体操」や「ふれあい・いきいきサロン」を多くの地域で実施している。市社会福祉協議会(以下、「市社協」という。)からは歳末たすけあい募金を原資とする助成はあるが、市からの活動費の助成は無い。その他、市社協が生活支援体制整備に向けて町社協を考えてくれたが、現場は混乱している。基本理念に健康づくりの推進を掲げている以上、市は市社協と上手に連携して取り組んでほしい。

(事務局) 地域で実施しているピンシャン！元気体操は、地域のサロンを補完する形も兼ねて始まった。活動費の助成は無いが、週一回以上体操を実施している団体への会場使用料、必要な備品の購入費の補助は行っている。

ご指摘のとおり、民生委員をはじめ地域で活動されている人の負担を増やさないためには、市社協との連携は不可欠なもの。現在、市社協側の担当者とは、居場所づくりや見守り活動の推進に向け、町社協も含めた様々な社会資源を整理できないか話し合いを行っている。お示しするまで少し時間はかかるが、今後ご理解ご協力をいただくと有り難い。

## 4 その他

・【資料4】に基づき事務局から説明

<質疑等>

※特になし。

<次回の開催について>

(事務局) 次回は令和5年12月21日に、前橋市議会庁舎2階研修室で開催予定。詳細は後日お知らせする。

## **5 閉 会**

(小坂福祉部長) 今回も多くの貴重な意見をいただき感謝申し上げます。市社協との連携についての意見が出たが、各々に役割があり、互いで両輪になって地域住民の福祉を進めるもの。これからも上手に連携していきたい。

年金受給開始時期や国民年金保険料の納付期間の延伸が報道され、健康寿命がさらに長くなることが予想される。次回は目標に対する実績など、具体的な計画内容をお示しできると思うので、今後も様々な視点からご意見をいただきたい。

以上